**第 3学年1組道徳学習指導案**

**1　主題名**　勇気を出して　〔内容項目1―（3）〕

**2　資料名**　「心ない言葉」

**3　本時の学習指導**

（1）ねらい

自分で正しいと思えることは、勇気をもって行動しようとする態度を育てる。

（2）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 主な発問と予想される児童の反応 | 教師の支援 | 時間 |
| １　これまで、勇気を出したのはどのような場面であったかふり返る。  2　「心ない言葉」の範読をし、ぼくの気持ちを考える。  (1)  場面①  なかなか言い出せないぼく  場面②  お母さんとぼく  (2)  (3)  場面③  やめてと言ったぼく    (4)  場面④  話し合いのあと  3　これからどのような場面で勇気を出すことができるか考え、ノートに書く。  4　教師の説話を聞く。 | 〇みんなは今まで勇気を出したことはありますか。それはどんな時ですか。  ・運動会のダンスで、緊張していたが体を大きく使って踊ったとき。  ・音楽会で大きな声で歌ったとき。  ・答えがあっているか不安だったけど、授業で自分の意見を発表したとき。  〇この話の登場人物は誰でしょうか。  ・ぼく  ・お母さん  ・先生  ・友だち  〇あだ名で呼んでほしくないとなかなか言えなかったとき、ぼくはどんなことを考えていたでしょうか。  ・やめてほしいけど言うのがこわい。  ・言ったらもっといじわるされる。  〇お母さんに「自分の気持ちをみんなに話してみたら」と言われたとき、ぼくはどんなことを考えたでしょうか。  ・お母さんは優しいな。  ・お母さんは子どもがつらいことが悲しい。  ・でも言えないな。  ・明日言ってみようかな。  〇二日後、ぼくはどんな気持ちで「あだ名で呼ぶのはやめてほしい」と言ったのでしょうか。  ・お母さんに勇気をもらえた。  ・やめてほしいから思い切って言おう。  ・勇気を出そう。  〇話合いの後、自分のことを誰もあだ名で呼ばなくなって、ぼくはどんなことを思ったでしょうか。  ・言ってよかった。  ・あだ名で呼ばれなくて嬉しい。  ・もっと早くに言えばよかった。  ・勇気を出してよかったけど、いつも勇気を出すことは難しいことだ。  ・難しいことだけど、これからは勇気を出して言おう。  〇これからはどのようなときに勇気を出して行動したいですか。  ・ぞうきんがけをしない友達がいたら、注意をするようにしたい。  ・うがいをしない友達がいたら、風邪が流行ってしまうからうがいをしようと言うようにしたい。 | 〇これまでの経験をふり返り、本時のねらいとする価値への課題意識が持てるようにする。  〇登場人物は、人間関係が分かりやすいように板書する。  〇ぼくのつらい気持ちや悲しい気持ち、言えない気持ちに共感する。  〇児童の言葉を用いて板書する。  〇児童の言葉を用いて板書する。  〇言いたい気持ちと言えない気持ちの葛藤に共感する。  〇泣きながら話を聞いていたお母さんの気持ちに触れる。  〇児童の言葉を用いて板書する。  〇勇気を持って「やめて」と言ったぼくの強さにふれる。  〇児童の言葉を用いて板書する。  〇勇気とは、勇気をもって正しい行動をすることであり、常にそれをやり通すことである。それは難しいことだが、自分にとってもみんなにとっても良いことである。  〇児童の考えを学級で共有する。  〇自分たちの生活をふり返り、今後の行動に生かせるようにする。  〇「遠足のおやつの規則を破ったことを正直に謝ったら、謝ったことは先生に褒められた。」 | 3’  5’  5’  12’  7’  5’  8’  1’ |

**4　備考**　在籍生徒数　　35名

**5　板書計画**

|  |
| --- |
| 勇気を出して　「心ない言葉」  ◎あだ名で呼ばれても、やめてと言えないぼく  ・我慢しよう。  ・いやだけど、言いにくいな。  ◎お母さんと話したときのぼく  ・明日言ってみようかな。  ・言えないな、こわいな。  →かっとう  ◎二日後、やめてと言ったぼく  ・お母さんに勇気をもらえた。  ・やめてほしいから思い切って言おう。  ・勇気を出そう。  ◎誰もあだ名で呼ばなくなった  ・言ってよかった。  ・もっと早くに言えばよかった。  ・勇気を出してよかったけど、いつも勇気を出すことは難しいな。  ・難しいことだけど、これからは勇気を出して言おう。  　◯これからはどのようなときに勇気を出して行動したいか？ |